

就業履歴蓄積促進事業 実施報告書(中小構成員等に対し補助)

建設事業主団体名:

No.	補助した中小事業主・一人親方の名称	属性	所属	雇用保険加入状況	中小事業主・一人親方が導入した機器、ソフトウェア等の名称	左記の数量	使用場所(工事現場名等)	使用期間・リース期間・契約期間 ※事業年間計画期間を超える場合は、同期間の完了日を記載すること	中小事業主・一人親方が負担した費用			建設事業主団体が補助した額	過去に本事業を活用し、左記の機器、ソフトウェア等について補助を行った実績	他団体が実施する本事業について、左記の機器、ソフトウェア等に対する補助を受けた実績(同一の事業年間計画期間内の予定を含む。)の確認	備考
									費目	所要費用	左記 算出内訳				
1								~		円		円			
2								~		円		円			
3								~		円		円			
4								~		円		円			
4								~		円		円			
5								~		円		円			
6								~		円		円			
7								~		円		円			
8								~		円		円			
9								~		円		円			
10								~		円		円			
11								~		円		円			
12								~		円		円			
14								~		円		円			
15								~		円		円			
16								~		円		円			
17								~		円		円			
18								~		円		円			
19								~		円		円			
20								~		円		円			
21								~		円		円			
22								~		円		円			
23								~		円		円			
24								~		円		円			
25								~		円		円			
26								~		円		円			
27								~		円		円			
28								~		円		円			
29								~		円		円			
合計										円		円			

(建普様式第2号別紙2-4-①の裏面)

就業履歴蓄積促進事業 報告書(中小構成員等に対し補助)について

1 提出上の注意

この実施報告書は、就業履歴蓄積促進事業において建設事業主団体が中小事業主又は一人親方に補助した場合に人材確保等支援助成金(建設キャリアアップシステム等普及促進コース)支給申請書(建普様式第2号)に添付してください。

2 記入上の注意

(1)「補助した中小事業主・一人親方の名称」欄は、建設事業主団体が補助した中小事業主の名称又は一人親方の氏名を記載してください。

(2)「属性」欄は、建設事業主団体が補助した者について、「1 中小事業主」又は「2 一人親方」の別を記載してください。

(3)「所属」欄は、建設事業主団体が補助した中小事業主又は一人親方について、団体の構成員である場合は「1 構成員」を記載し、団体の構成員と直接関係(元下関係など)のある者については「2 構成員と直接関係のある者」を記載してください。

(4)「雇用保険加入状況」欄は、建設事業主団体が補助した中小事業主又は一人親方について、「1 適用事業主」、「2 過去に被保険者であった者」、「3 被保険者になろうとする者」又は「4 上記外の者」の別を記載してください。

なお、一人親方につきましては、「4 上記以外の者」に該当する場合は、助成の対象となりませんのでご注意ください。

(5)「中小事業主・一人親方が導入した機器、ソフトウェア等の名称」欄は、建設事業主団体が補助した中小事業主又は一人親方について、その導入した機器、ソフトウェア等の種類(「1 カードリーダー」、「2 専用アプリ」、「3 携帯電話発信」、「4 顔認証システム」、5 運用に必要不可欠な機器等)又は「6 その他」)を記載してください。

導入した機器、ソフトウェア等(1~6)のうち、複数ものものを導入した場合は、それぞれ別行にて記載してください。

「6 その他」を記載した場合、備考欄にその具体的な名称を記載してください。

(6)「左記の数量」欄は、「中小事業主・一人親方が導入した機器、ソフトウェア等の名称」欄に記載した機器、ソフトウェア等について、機器の場合はその数量を記載し、ソフトウェア等の場合は「一式」を記載してください。

(7)「使用場所(工事現場名等)」欄は、「中小事業主・一人親方が導入した機器、ソフトウェア等の名称」欄に記載した機器、ソフトウェア等について、その使用する場所や工事現場名等を記載してください。

なお、天災等によりやむを得ず使用することができなかった場合は、使用予定であった使用場所の名称を記載し、備考欄に使用できなかった理由、使用予定であった期間を記載してください(備考欄の記載例:令和〇年〇月~〇月に使用予定であったが、大雨により工事延期になり使用不可)。

(8)「使用期間・リース期間・契約期間」欄は、「中小事業主・一人親方が導入した機器、ソフトウェア等の名称」欄に記載した機器、ソフトウェア等について、その使用期間(リース又は契約の場合は、リース期間又は契約期間)を記載してください。

事業年間計画期間を超える場合は、同期間の完了日を記載してください。

複数の場所で使用する場合であって、機器、ソフトウェア等の使用期間・リース期間・契約期間に空白が生じない場合は、代表的な使用場所を記載し、その他の使用場所は、箇所数だけの記載として1行内で記載して差し支えありません。

なお、天災等によりやむを得ず使用することができなかった場合は、使用期間は空欄とし、備考欄に使用できなかった理由、使用予定であった期間を記載してください(備考欄の記載例:令和〇年〇月~〇月に使用予定であったが、大雨により工事延期になり使用不可)。

(9)「費目」欄については、「中小事業主・一人親方が導入した機器、ソフトウェア等の名称」欄に記載した機器、ソフトウェア等について、その調達方法による費目(「1 購入費」、「2 リース料」、「3 契約料」又は「4 その他経費」)を記載してください。

「4 その他」を記載した場合、備考欄にその具体的な費目を記載してください。

(10)「所要費用」欄は、「中小事業主・一人親方が導入した機器、ソフトウェア等の名称」欄に記載した機器、ソフトウェア等について、中小事業主又は一人親方が負担した費用を記載してください。

(11)「左記 算出内訳」欄は、「所要費用」欄の金額の算出に当たっての内訳を記載してください(例 「●台×●●円」、「月●●円×●か月」、「初期費用 ●●円、設置費用 ●●円、PCリース料 月●●円×●か月、インターネット接続料 月●●円×●か月、月額利用料 ●●円×●か月」など)

(12)「建設事業主団体が補助した額」欄は、「中小事業主・一人親方が導入した機器、ソフトウェア等の名称」欄に記載した機器、ソフトウェア等について、建設事業主団体が補助した額を記載してください。

(13)「過去に本事業を活用し、左記の機器、ソフトウェア等について補助を行った実績」欄は、建設事業主団体が補助した中小事業主又は一人親方について、過去に本事業を活用し、機器、ソフトウェア等について補助を行った実績の有無(「1 無」又は「2 有」)を記載してください。

なお、「2 有」を記載した場合は、助成の対象となりませんのでご注意ください。

(14)「他団体が実施する本事業について、左記の機器、ソフトウェア等に対する補助を受けた実績(同一の事業年間計画期間内の予定を含む。)」の確認」欄は、建設事業主団体が補助した中小事業主及び一人親方について、他の建設事業主団体から当該機器、ソフトウェア等の補助を受けた実績(同一の事業年間期間内の予定を含む。)の有無(「1 無」又は「2 有」)を記載してください。

就業履歴蓄積促進事業 実施報告書（無償貸与・無償提供）

建設事業主団体名： _____

1 導入した機器、ソフトウェア等

No.	導入した機器、ソフトウェア等の名称	左記の数量	導入費用			備考
			費目	所要費用	算出内訳	
1-1			4 関連経費（備考欄に記載）	円		
1-2				円		
1-3				円		
1-4				円		
1-5				円		
計				円		

2 無償貸与・無償提供の状況

No.	無償貸与・無償提供をした 中小事業主・一人親方の名称	属性	所属	雇用保険加入状況	無償貸与・無償提供した機器、ソ フトウェア等の名称	左記の 数量	使用（予定）場所 （工事現場名等）	使用（予定）期間	無償貸与・無償貸出 を行った日	無償貸与・無償提供する期間 ※事業年間計画期間を超える場合 は、同期間の完了日を記載するこ と	備考
2-1								～		～	
2-2								～		～	
2-3								～		～	
2-4								～		～	
2-5								～		～	
2-6								～		～	
2-7								～		～	
2-8								～		～	
2-9								～		～	
2-10								～		～	
合計											

1 提出上の注意

この実施報告書は、就業履歴蓄積促進事業において建設事業主団体が機器、ソフトウェア等を購入、リース、契約し、中小事業主又は一人親方に無償貸与又は無償提供した場合に人材確保等支援助成金（建設キャリアアップシステム等普及促進コース）支給申請書（建普様式第2号）に添付してください。

2 記入上の注意

(1) 「1 導入した機器、ソフトウェア等」について

- ①「導入した機器、ソフトウェア等の名称」欄は、建設事業主団体が導入した機器、ソフトウェア等の種類（「1 カードリーダー」、「2 専用アプリ」、「3 携帯電話発信」、「4 顔認証システム」、5 運用に必要不可欠な機器等」又は「6 その他」）を記載してください。
- ②「左記の数量」欄は、「導入した機器、ソフトウェア等の名称」欄に記載した機器、ソフトウェア等について、機器の場合はその数量を記載し、ソフトウェア等の場合は「一式」を記載してください。
- ③「費目」欄は、「導入した機器、ソフトウェア等の名称」欄に記載した機器、ソフトウェア等について、その調達方法による費目（「1 購入費」、「2 リース料」、「3 契約料」又は「4 関連経費（備考欄に記載）」）を記載してください。同一の機器、ソフトウェア等について、複数の方で調達した場合は、別行にて記載してください。「4 その他」を記載した場合、備考欄にその具体的な費目を記載してください。
- ④「所要費用」欄は、「導入した機器、ソフトウェア等の名称」欄に記載した機器、ソフトウェア等について、建設事業主団体が負担した費用を記載してください。
- ⑤「算出内訳」欄は、「所要費用」欄の金額の算出に当たっての内訳を記載してください（例 「●台×●●円」、「月●●円×●か月」、「初期費用 ●●円、設置費用 ●●円、PCリース料 月●円×●か月、インターネット接続料 月●円×●か月、月額利用料 ●円×●か月」など）
- ⑥「備考」欄は、費目欄で「4 関連経費（備考欄に記載）」を記載した場合は、どの機器、ソフトウェア等に関連するか及び当該関連経費の名称を記載してください。また、機器、ソフトウェア等（関連経費を含む。）の導入がリース又は契約の場合は、そのリース期間又は契約期間を記載してください。

(2) 「2 無償貸与・無償提供の状況」について

- ①「無償貸与・無償提供をした中小事業主・一人親方の名称」欄は、建設事業主団体が無償貸与又は無償提供した中小事業主の名称又は一人親方の氏名を記載してください。
- ②「属性」欄は、建設事業主団体が無償貸与又は無償提供した者について、「1 中小事業主」又は「2 一人親方」の別を記載してください。
- ③「所属」欄は、建設事業主団体が無償貸与又は無償提供した中小事業主又は一人親方について、団体の構成員である場合は「1 構成員」を記載し、団体の構成員と直接関係（元下関係など）のある者については「2 構成員と直接関係のある者」を記載してください。
- ④「雇用保険加入状況」欄は、建設事業主団体が無償貸与又は無償提供した中小事業主又は一人親方について、「1 適用事業主」、「2 過去に被保険者であった者」、「3 被保険者になろうとする者」又は「4 上記外の者」の別を記載してください。
なお、一人親方につきましては、「4 上記以外の者」に該当する場合は、助成の対象となりませんのでご注意ください。
- ⑤「無償貸与・無償提供した機器、ソフトウェア等の名称」欄は、建設事業主団体が無償貸与又は無償提供した機器、ソフトウェア等の種類（「1 カードリーダー」、「2 専用アプリ」、「3 携帯電話発信」、「4 顔認証システム」、5 運用に必要不可欠な機器等」又は「6 その他」）を記載してください。「6 その他」を記載した場合、備考欄にその具体的な名称を記載してください。
- ⑥「左記の数量」欄は、建設事業主団体が無償貸与・無償提供した機器、ソフトウェア等について、機器の場合はその数量を記載し、ソフトウェア等の場合は「一式」を記載してください。
- ⑦「使用（予定）場所（工事現場名等）」欄は、「無償貸与・無償提供した機器、ソフトウェア等の名称」欄に記載した機器、ソフトウェア等について、その使用する場所や工事現場名等を記載してください。複数の場所で使用する場合は、代表的な使用場所を記載し、他の場所については、箇所数のみ記載してください。
なお、天災等によりやむを得ず使用することができなかった場合は、使用予定であった使用場所の名称を記載し、備考欄に使用できなかった旨を記載してください（備考欄の記載例：大雨により工事延期になり使用不可）。
- ⑧「使用（予定）期間」欄は、「無償貸与・無償提供した機器、ソフトウェア等の名称」欄に記載した機器、ソフトウェア等について、その使用期間を記載してください。
なお、天災等によりやむを得ず使用することができなかった場合は、使用予定であった期間を記載し、備考欄に使用できなかった旨を記載してください（備考欄の記載例：大雨により工事延期になり使用不可）。
- ⑨「無償貸与・無償提供を行った日」欄は、「無償貸与・無償提供した機器、ソフトウェア等の名称」欄に記載した機器、ソフトウェア等について、建設事業主団体が無償貸与又は無償提供を行った日を記載してください。
- ⑩「無償貸与・無償提供する期間」欄は、建設事業主団体が中小事業主又は一人親方に無償貸出・無償提供する期間を記載し、事業年間計画期間を超える場合は、同期間の完了日を記載してください。複数の場所で使用する場合は、最初の現場で使用を開始した日及び最後の現場での使用を終了した日を記載してください。
- ⑪「備考」欄には、「1 導入した機器、ソフトウェア等について」に記載した機器ソフトウェア等のうち、どの機器、ソフトウェア等に該当するか記載してください。なお、事業主団体が機器等の購入、リース、契約を行っても、中小構